

救いを得るための貧しさ

ルカによる福音書一八章18〜30節

これを聞いた人々が、「それでは、誰が救われることができるでしょう」と言うと、イエスは、「人にはできないことも、神にはできる」と言われた。(26、27)

一人の富める青年がイエスのもとに来て、永遠の命を得るためにどうしたらいいかと尋ねました。彼は幼い頃から律法を守り行つて来たことを誇りに思いつつ、まだ何か足りないことがあれば、それを実行しようと考えていました。主イエスが彼に求められたのは、財産を全て売り払つて貧しい人々に与えるようにということでした。到底できないような答えを聞いたとき、人々が「それでは、誰が救われることができるでしょう」と驚きの声をあげました。イエスの答えは、「人にはできないことも、神にはできる」でした。そうなのです。人は自分の力によつて自分を救うことなど出来ないのです。私たち罪人を救うことは神にしか出来ません。その神の憐れみにすがるしかない自分であることを認めること、その神の御前における低さと貧しさが私たちに求められているのです。